

令和6年度 第2回 理事会 議案書

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

日時：令和6年11月30日(土)15:30～

場所：志津まちづくりセンター 大会議室

◆ 次第 ◆

1. 開会の挨拶

2. 会長挨拶

3. 議長選出 議長（ ）

4. 議長挨拶

5. 報告事項

第1号報告 令和6年度上半期事業報告

第2号報告 草津川切下げに関する特別委員会報告

第3号報告 残地森林活用検討委員会報告

第4号報告 令和7年度からの第3期指定管理の申請について

7. 議事終了・議長退任

8. 閉会の挨拶



志津

まちづくり協議会

1. 上半期事業総括

令和 6 年度の上半期は、事業方針に沿って、プロジェクト体制の事業運営、12 町内会と連携した町内会長会の運営、また、草津川切り下げに関する特別委員会、志津運動公園の移設先の残地森林活用検討委員会の開催を行ってきました。下半期も継続して各事業や会議体の運営を行っていきます。さらに、第 4 次志津まちづくり計画の策定も本格的に進めていきます。

※日付の表記：R06/04/04 は、令和 6 年 4 月 4 日を示す。
R07/02 は、令和 7 年 2 月を示す。

2. 町内会長会

◆町内会長会 出席者：各町内会長、担当副会長、事務局 2 名、場所：志津まちセン

開催日	内容
R06/04/27	自己紹介 「志津まちづくり協議会」会則・会費納入、「町内会長会」規約 志津まちづくり協議会の事業計画 町内会長会代表・副代表、各委員の選任について 代議員の選出について、まち協会費の納入について(お願い) 今年度の町内会長会の日程について
R06/05/21	各種団体からの依頼(体振、青少年、交通安全会) 町内会長会の役割、学区からの防犯灯設置、防犯カメラの設置 防災プロジェクトより(避難所宿泊体験事業) ベンチ設置場所の報告のお願い
R06/06/18	高齢者健康長寿まちづくり事業に関する計画と請求書について 志津まち協からの防犯灯設置補助について 町内学習懇談会に関する年間スケジュール 市長とまちづくりトークのテーマについて
R06/07/16	ほほえみ会から協力依頼(町内会・自治会に加入していない人の確認) 新志津運動公園と里山保全管理組織の検討委員会の開催について 自主防災会活動助成金について 避難所宿泊体験のスタッフとして各町内会の防災委員の協力について 市長とまちづくりトークについて(12 月 17 日 19 時 30 分～) 先進地視察研修会について
R06/08/20	ほほえみ会から協力依頼(90 歳以上の高齢者に長寿お祝いの配付のお願い) 安全安心プロジェクト「通学路危険個所の改善要望に向けて」協力要請 志津ふれあい広場の実行委員のご協力のお願い 敬老事業実施に伴う市長メッセージの配付につい 市長とまちづくりトークについて 志津人権教育推進協議会第 4 講座の開催について
R06/09/17	赤い羽根共同募金のご協力について(草津市社会福祉協議会より) 志津学区防災本部立上げ訓練実施に伴うご協力の依頼について 各町内学習懇談会の実施計画書の提出について 第 34 回志津ふれあい広場について(前回説明済み) 志津小通学路(山寺西の堤防から下る道)の安全対策について 市長とまちづくりトークについて 8 月 23 日付で提出があった依頼書事項について回答(本部より)

3. 楽座プロジェクト

【活動方針】

世代を超えて人々のつながりを大切にしながら、「志津で楽しく暮らし続けたい」という住民の思いをそれぞれの世代や立場で見出すプログラムを展開し、誰もがいきいきと暮らせるまちを目指します。「ロクハ公園」「志津まちづくりセンター」の活用、「交流」を柱に、新しい地域文化の創造を目指します。自由な発想と新しい人材の発掘、活動に携わる人自身もわくわくしながら、まちづくりに参画できるような地域住民の交流のきっかけ作りを行います。

【活動内容】

事業名	楽座マルシェ		
子どもマルシェでは、センターの子ども居場所事業に合わせた夏休み平日としたが保護者の方もたくさん来て頂き子どもたちを見守っておられた。中に入ってもらい子どもから話を聞いて喜んでおられた。工夫して物を売り買いする中でコミュニケーションや自分を魅せる力といったものを育むことができた。志津健康フェアでは、マルシェ、講演、ステージ企画、介護用品展示、各種測定、ワークショップと様々な企画を盛り込むことでたくさん来て頂けた。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/08/02	しづ子どもマルシェ(子ども居場所づくり合同)	志津まちセン	92 名
R06/09/07	しづ楽座マルシェ&健康フェア(福祉 PJ 合同)	志津まちセン	320 名

※志津まちセン：志津まちづくりセンターを示す。

事業名	楽座チャレンジ		
より地域課題の解決につながるアイデアを企画。地域の交流を促進するために象徴となるイベントを企画して、困りごとを解決するための掲示板を設置するアイデアが出た。すでに地域活動をされている方々が多く、やるなら自分も手伝う意見が多く出たことが印象的。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/06/28	志津を楽しくする 100 のプロジェクト のいずれかを実施	志津まちセン	13 名
R07/01		志津まちセン	約 20 名

事業名	志津みつけ！		
志津の歴史、自然、おもしろい場所、お店、施設などを「志津みつけ！ 作戦会議」と称しボランティアが集まり企画した。くすのきレストランと合同で開催したことで、くすのきレストランの認知度向上にもなった。アンケートではリクエストがほとんどであり、第 2 回を 12 月 21 日に開催予定			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/04/20	志津みつけ！ 青地町探索ウォーキング	志津まちセン 青地町近郊	75 名
R06/12/21	第 2 回 志津みつけ！	青地 1 町近郊	約 30 名

事業名	第 34 回志津ふれあい広場
今回は「子どもたちの未来に愛と夢を」～志津のパワーと魅力再発見～をテーマにロクハ公園で開催しました。来場者 4,437 名その内、志津の子ども 1,309 名が楽しい企画を体験してもらいました。また、スタッフ負担を軽減するためにテント設営・撤収、机イス運搬をはじめて外部委託しました。シャトルバスは、行きが 3 件 6 名、帰りが 2 件 3 名と極めて少なく、今後の送迎支援策は不要と考えている。	

実施日	実施内容	場所	参加者
R06/11/10	ロクハ公園で次のエリアに分けて実施しました。 野外ステージ、地域企業、マルシェ・キッチン、 スポーツ体験、子ども広場エリア	ロクハ公園	学区全域 4,437 名
R06/08/24、R06/09/14 R06/10/05、R06/11/02 R06/11/09、R06/11/30	実行委員会を開催	志津まちセン	実行委員

4. 福祉プロジェクト

【活動方針】

高齢者、障がい者、子育て世帯、単身世帯をはじめとして、志津の住民の方々が暮らしていく中で、生活の課題を抱えていたり、困ったことが起きた時に、行政だけでは対応出来ない福祉の課題をお互い様の気持ちで助け合い、支え合うことで、住み慣れた志津のまちで住み続けていけるよう仕組みづくりを進めていきます。

【活動内容】

事業名	高齢者健康長寿まちづくり		
高齢化社会にあって、認知症や孤立化、老々介護等の課題に対して各町内会・自治会へ補助金を支給し、町内会・自治会による高齢者の健康長寿のまちづくり事業に貢献できた。 また、日頃より、地域の高齢者福祉に活動している関係者と、身近な困りごととして、ごみ出しに関する課題について、意見交換会を開催しました。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/06/22	高齢者福祉活動研修会 ・町内会長、福祉推進委員、 民生委員児童委員、地域サロンなど	志津まちセン	42 名
R06/09	各町内会・自治会で実施して頂く	各会場	町内会毎

事業名	ぷらっとカフェ 居場所づくり		
昨年度に引き続き、志津まちセンの交流スペースを活用して、実行委員会形式でカフェを運営します。誰もがふらっと立ち寄れて、交流が出来たり、家庭や仕事場以外の居場所づくりを目指し、孤立化防止や地域との繋がりを継続して作っていきます。			
実施日	実施内容	場所	参加者
毎火木土	交流サロンでカフェを運営(10:00～15:30) 年に数回は企画イベントを開催します。	志津まちセン	月 200 名

事業名	志津くすのきレストラン		
昨年度に引き続き、ボランティアスタッフによる実行委員会形式で子ども食堂を運営します。地域での子どもたちの居場所となったり、地域で見守り、育んでいく場にしていきます。参加条件を限定せず、高齢者等も含め、誰もが参加でき、食を通しての地域の交流の機会をつくりました。			
実施日	実施内容	場所	参加者
随時	実行委員会	志津まちセン	20 名
毎月 3 土	志津くすのきレストラン(子ども食堂)を実施	志津まちセン	50 名/回
R06/04/20	志津みつけ事業の希望者とランチ交流	志津まちセン	114 名

事業名	健康ひろば(まちの保健室)		
健康チェック事業では、より広く健康への関心をもって頂いた。定期的に血圧、血管年齢、握力を測定し記録していくことで身体の状況を知り、病気や介護予防に繋がり、健康寿命の延伸に繋がる。特に、健康の専門家である保健師に相談できることで、定期的な計測への意識が高まり、常連の方も増えた。健康けん玉体験事業は、本年度より、健康チェックの日と併せて、大人向けの健康けん玉講座を実施し、楽しんで健康になる講座となった。			
実施日	実施内容	場所	参加者
毎月 3 木	ぷらっと茶屋開催に併せて、 ・健康チェックや健康けん玉体験講座を開催	志津まちセン	各 20 名

事業名	健康フェア(楽座 PJ と合同)		
昨年度の反省を活かし、介護と健康をテーマとすることで、高齢者や、子育て世代等、多世代の方にアプローチできた。介護については、介護を必要としてから介護を知るのではなく、事前に知識を持っていることが、いざという時に困らないということと身近に事業者を知ること、家族の方が気軽に相談できるということを狙いとしたが、介護への関心は薄かった。今回初めて、薬剤師との連携で、薬の相談が実施でき、また薬局の協力で、骨密度測定や野菜摂取量も測定でき、より健康への意識が持てた。健康推進員さんとも連携で健康食の試食も実施できた。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/09/07	健康フェア（介護と健康の体験と啓発）	志津まちセン	320 名

事業名	認知症があっても安心なまち		
認知症があっても安心して住み続けられるまちを目指して、誰もが認知症への正しい理解を持つために研修や予防講座、地域安心声かけ訓練といった町内会での御協力のもと、地域全体での取り組みを実施しました。本年は上尾町内会で実施し、アンケート結果では、大変参考になったとのことと、認知症への理解を深めたいとの感想が多かった。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/07	認知症カフェ設立準備(家族会の方の講演等)	志津まちセン	10 名
R06/10/05	認知症サポーター養成講座	志津まちセン	33 名
R06/09/17	認知症サポーター養成講座	口八荘	44 名
R06/10/27	地域安心声掛け訓練	上尾町高穂会館	28 名
R06/10/04	フレイル予防講座(健康推進委員協賛)	志津まちセン	60 名

事業名	まめタク利用促進		
交通不便地がある地域の移動の手段確保をすることで、暮らしの利便性向上や高齢者の閉じこもり予防としていく。昨年度に、草津駅路線のルートが一つ増えたが、更なる利用の促進や他の不便地についても、現状把握や声を収集していき、継続して検討していく。			
実施日	実施内容	場所	参加者
年間	駅ルートや巡回ルートへの利用促進と、他の不便地の実態調査やヒヤリング	学区内	対象地域

事業名	緊急医療情報キット「安心のボタン」
学区内の高齢者・障害をお持ちの方を対象に安心のボタンをお届けしてきました。 緊急(110,119)通報の時、救急隊の方が冷蔵庫(近辺含む)にあるボタンを見て、持病・緊急連絡先・かかりつけ医などを参考にして救助時の情報にする全国的な取り組み。	

実施日	実施内容	場所	参加者
年間	高齢者・障害をお持ちの方を対象に その都度、安心のバトンを配付	学区内	対象の方

事業名	その他地域福祉に関する事業		
志津社会福祉協議会は、地域の福祉活動計画「ふれあい、支え合い、住み続けたいまち」を促進するため、福祉プロジェクトの事業として活動を進めてきました。具体的には、 (1)高齢者障害者との交流ふれあいサロン (2)高齢者の福祉対策支援 (3)地域福祉交流会 (4)お互い様のまちづくり を実施しました。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/06/26	高齢者障害者との交流ふれあいサロン(1) 郊外研修(施設や由緒ある歴史館等見学)	県内又は 周辺市	44 名
R06/12/06	高齢者障害者との交流ふれあいサロン(2) 余興を交えて楽しい雰囲気でお睦めを図る	志津まちセン	78 名
R06/07/08 R06/10/25	高齢者障害者との交流ふれあいサロン(3) 4,5 歳の園児と七夕交流と秋の集いを行う	さくら坂子ども園 青地保育園	119 名
年間	高齢者の福祉対策支援 70 歳以上一人住まいの方に誕生祝品贈呈	学区内	250 名
R07/02	地域福祉交流会、福祉推進委員で企画して 福祉の地域課題や意見交換を行う。	志津まちセン	40 名
年間	お互い様のまちづくり、居場所づくりの推進のため 交流サロンを活用して福祉プロジェクト事業と 連携していく。また、先進地視察を行い新たな 情報を取り入れていく。	志津まちセン 郊外	25 名

5. 里地里山プロジェクト

【活動方針】

持続可能な地域計画を見据えて活動していく。また、プロデュース機能の充実を図り、市・まち協・現場を総合的に捉えて連携できる体制づくりを目指して、参加者個々のパーソナリティを活かした活動展開ができるよう、参加者が愉しく面白く安全に活動していくことを目指します。また、地域特産品の開発と販売や情報発信と販売計画及び収支管理ができる組織づくりを目指します。

※里地里山の活動は、馬場町 112 他、の山林・田畑を借地して馬場ベース拠点とします。

【活動内容】

事業名	志津里山自然学校		
自然体験活動を通じて、自然と人とのふれあいや環境について学習し、率先して環境に良い行動がとれる地域住民が増えていくことをめざします。また、経験したことを活かして地域リーダーとなり地域の自然を守り次世代に継承できる人材の育成をめざしてきました。さらにボランティアによる協力をして頂くこともできました。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/04/06	ステップアップ講座(自然学校 1,2 期生対象)	志津まちセン	28 名
R06/04/27	開校式・森であそぼう・森でまなぼう	馬場ベース	42 名
R06/06/08	ホテルと友だちになろう	馬場町付近	38 名
R06/10/20	みんなで伐採にチャレンジ！	馬場ベース	41 名

R06/12/01	みんなで薪作りにチャレンジ！	馬場ベース	約 50 名
R07/03/08	マイツリーを植えてみよう&閉校式	馬場ベース	約 50 名

事業名 里山整備事業			
里山保全のために必要となる技術や知識を習得して、里山の特産品としての薪や椎茸の販売を通して地域との交流や地産地消の環境にやさしい活動を目指します。 2 回のチェーンソー・ロープワーク技術講習会を実施し里山保全技術者を増やすことができた。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/11/10 他	林道整備・間伐・薪棚・椎茸木づくり ふれあい広場でキャンプ薪・芋を販売	馬場ベース	PJ メンバー
R06/05/12	チェーンソー・ロープワーク技術講習会(1)	馬場ベース	3 名
R06/10/26	チェーンソー・ロープワーク技術講習会(2)	馬場ベース	1 名

事業名 志津畑で野良仕事楽校			
馬場ベースに新たに里地プログラムが展開できるよう畑で野菜栽培を行いながら楽しく面白く安全に活動できるようメンバーと体制づくりを目指します。その中で野菜の特産品の販売ができるよう地産地消の体制を目指します。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/05～	夏野菜の栽培と収穫(茄子,きゅうり,トマト他)	馬場ベース	4 家族
R06/10～	冬野菜の栽培と収穫(白菜,大根,かぶら,キャベツ他)		

事業名 合同収穫祭			
里地里山の活動の集大成として収穫物を活かして活動の成果発表を行いながら里地里山 PJ に関わるメンバー同士の交流を深めることを目的とします。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/11/23	収穫物料理で楽しもう&親子ウッドクラフト活動	志津まちセン	約 50 名

6. 安全・安心プロジェクト

【活動方針】

安全・安心プロジェクトでは、交通安全を中心に事故と犯罪のないまちづくりを目指します。そのためには地域の実情を踏まえ、関係する団体と町内会と連携して、現状の課題を共有して地域全体の安全性を高める活動を続けていきます。

【活動内容】

事業名 交通安全に向けた情報交換会			
志津学区内の関係各種団体が集まり、地域内の通学路の危険箇所をあげ、その問題解決、情報意見交換のワークショップを行いました。継続して、通学路の安全に関する情報の共有や維持管理ができるようにしていきます。通学路の安全に関する情報は、新入学児童等に大切な情報となるため簡単に参照できるようネット公開していきます。引き続き、犯罪と事故のないまちを目指します。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/06/20	ワークショップに向けたプロジェクト会議	志津まちセン	10 名
R06/07/18	ワークショップに向けたプロジェクト会議	志津まちセン	9 名
R06/09/20	ワークショップを開催	志津まちセン	21 名

事業名	志津道の横断旗の維持管理		
志津道の横断歩道に横断旗の設置と維持管理に努めて「横断歩道歩行者優先運動」を進め、交通事故のない安全安心なまちづくりを目指していきます。			
実施日	実施内容	場所	参加者
随時開催	横断旗増設の検討と維持管理	現場対応	PJ メンバー
R06/09/18	志津小スクールガード懇談会	志津小	26 名
R07/01	防犯カメラの管理	志津まちセン	PJ メンバー

7. 防災プロジェクト

【活動方針】

私たちは自然の猛威による災害などから逃れることはできません。逃れることができないからこそ、日常での備えが必要であると考えています。防災プロジェクトは「志津学区防災本部規約」に基づいて学区内の住民が日常でつながり「命を守る行動」を広めるための活動を行なっています。

【活動内容】

事業名	防災研修の拡充		
学区防災計画の平常時の活動として広域避難所である志津小学校体育館で避難所宿泊体験を行いました。夏休みに実施したことで多くの家族連れに参加して頂き、猛暑の中の避難所生活の大変さを実感できました。今後も学区全体の防災意識を高めていきます。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/05/16	プロジェクト会議(1)	志津まちセン	10 名
R06/07/04	プロジェクト会議(2)	志津まちセン	10 名
R06/07/27 ～28	防災研修(避難所宿泊体験)	志津小学校	17 家族 68 名
R06/09/05	プロジェクト会議(3)まとめ	志津まちセン	10 名

事業名	災害に備えた防災訓練の実施		
逃れることができない万一の災害に備えての対応能力の向上を図るために防災 PJ メンバーが中心となり、各町内会の自主防災会の協力を得て学区防災本部立上げ訓練を実施します。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/10/29	プロジェクト会議(1)	志津まちセン	7 名
R06/11/14	プロジェクト会議(2)	志津まちセン	10 名
R06/11/30	学区防災本部立上げ訓練	志津まちセン	約 50 名
R07/01/	プロジェクト会議(3)まとめ	志津まちセン	約 10 名

8. 情報プロジェクト

【活動方針】

地域の様々な情報をより多くの人に届けるため、定期発行のまちづくり通信や回覧に加えて Web や SNS を活用し、よりリアルタイム発信することで様々なイベント等への住民参加を促すとともに、「活動が見える」情報伝達に努めます。また住民の利便性を向上すべく、手続きや業務の効率化を図るために DX を推進します。さらには情報格差対策を推進し、誰もがいつでも情報

を得ることで世代に関係なく、豊かな暮らしの一助につなげていきます。

【活動内容】

事業名	まちづくり通信の発行		
志津まちづくり協議会ならびに各プロジェクトの取り組みやイベント案内を広く地域の皆さんにお知らせするとともに、読みやすく興味を持ってもらえる紙面づくりを心掛け、住民参加のまちづくりを促進します。また、記事編集にあたってはオンラインを活用し各団体より効率的な情報収集を行い、事務効率の削減を図ります。			
実施日	実施内容	場所	参加者
R06/07/01 R06/10/01 R07/01/15 R07/04/01	季刊紙として年 4 回発行(全戸配付) 07/01、10/01 号を発行 ※各発行前に情報プロジェクトで編集会議実施	志津まちセン	学区全域 配付

事業名	情報系 Web サイトの運営		
まちづくり通信の補完媒体として、よりリアルタイムに地域の皆さんに情報をお届けすることを目的とするとともに、各 PJ と連携して各種取り組みをデジタル活用により課題解決してきました。			
実施日	実施内容	場所	参加者
随時	安全安心 PJ の安全マップ提供 「健康フェア」の動画コンテンツ撮影・編集 「認知症訓練」の動画コンテンツ撮影・編集	オンライン	PJ メンバー
随時	まちづくり通信と連動した情報掲載を行った	オンライン	PJ メンバー
随時	各種イベント開催におけるデジタル活用提案	オンライン	PJ メンバー

事業名	LINE によるプッシュ型の情報発信		
プッシュ型の情報発信媒体として Web サイトと連携し、登録者に対して迅速に配信します。また、様々な情報媒体へのアクセスを容易にするためのユーザーインターフェースを構築します。			
実施日	実施内容	場所	参加者
通年	お知らせの配信を実施しました。	オンライン	PJ メンバー
年度末まで	友だち登録件数(現在 452 ユーザー) (各種イベント等で告知活動を実施)	オンライン	利用者

事業名	IT 活用研修		
地域住民を対象にデジタルデバインド解消のためのスマホなんでも相談会を実施します。また、需要に応じてセンター利用各団体に向けたテーマ別講習会も開催します。			
実施日	実施内容	場所	参加者
月 2 回予定	ぷらっと茶屋にてスマホ相談コーナーを実施	志津まちセン	3 名/日
年 3 回予定	岡本町ふれあいサロンにてセミナー実施 健康フェアでスマホ相談会実施	志津まちセン	40 名 3 名

事業名	インターネット環境維持管理		
センター利用者が快適にネット環境を利用できるようWiFiの維持管理を行ないます。			
実施日	実施内容	場所	参加者
随時	安全なインターネット接続環境の運用と維持	志津まちセン	利用者

9. 会議関係

会議名称	開催頻度	協議内容	出席対象者
総会	年 2 回 R06/06/08 R07/03/22	会則第 14 条に定める内容 ・昨年度決算、 ・当年度補正予算 ・当年度事業報告 ・翌年度事業計画/予算	代議員
理事会	R06/05/25 R06/11/30 R07/03/08	会則第 15 条に定める内容 総会議案	理事
三役会	月 1 回	会則第 16 条に定める内容 今年度の事業運営全般について	三役
プロジェクト 推進会議	四半期に数回	会則第 17 条に定める内容 主に各プロジェクトの計画と進捗および 予算と決算に関する事項	三役 各 PJ リーダー
プロジェクト会議	随時	会則第 18 条に定める内容 主にプロジェクトの計画と実施・報告お よび予算と決算に関する事項	PJ リーダー PJ メンバー
会計監査	R06/05 R06/11/20	R5 年度の収支決算の会計監査 R6 年度の収支決算の会計中間監査	監事、会計

上記の会議の開催場所は、志津まちづくりセンター

PJ：プロジェクト

10. センター指定管理業務

◆講座

事業名	開催日	内容	参加者数
ときめきクラブ 60 歳以上の高齢者講座	毎月 3 金 (3 月は第 1 金) 8 回	13:00～14:20 一般教養講座 14:30～16:00 サークル活動 ※サークル講師は 5 名	49 名
子育て支援講座	開催できず 定員不足	親子でリズム運動・料理・本読み を学ぶ	
大人の スキルアップ講座	R06/06/29 R06/12/21	蕎麦打ち講座 美味しい蕎麦打ち体験講座	6 名 募集 10 名
	R06/09/03,10	陶芸講座(2 回連続) 地元の土を使って手作り品を制作	5 名
	R06/11/15,22	書道講座(2 回連続) 心落ち着かせ書を楽しむ講座	8 名
	R06/12/13	寄せ植え講座 季節の花にふれ、花について学ぶ	募集 20 名
人権講座	R06/09/13 R07/02/01	第 1 回人権講座 第 2 回人権講座	40 名
味噌づくり講座	R07/01/30	楽しく味噌づくりを行う講座	15 名
子ども居場所づくり	R06/07/29 ～R06/08/02	子どもの居場所づくりとして、自習 室の開放を夏休みに行いました。	165 名

第2号報告 草津川切り下げに関する特別委員会報告

1. 特別委員会経過

令和4年度に草津川切り下げ及び区間6の整備事業（本事業と略す）の滋賀県・草津市からの説明を受けて、令和4年10月15日に草津川切り下げ特別委員会を発足しました。

令和6年度の経過は次の通りです。



年度	開催日	実施内容
4年度	R04/10/15	草津川切り下げに関する特別委員会発足
	R04/11/19	本事業に対する近隣町内会からの要望をまとめる
	R05/02/18	本事業の要望書を草津市長に提出
5年度	R05/11/24	草津市からの回答説明を受ける
6年度	R06/07/08	草津市からの回答説明（続き）を受ける
	R06/08/29	滋賀県・草津市から進捗と状況説明を受ける
	R06/09以降	草津川河川改修事業に伴う測量作業が開始

2. 特別委員

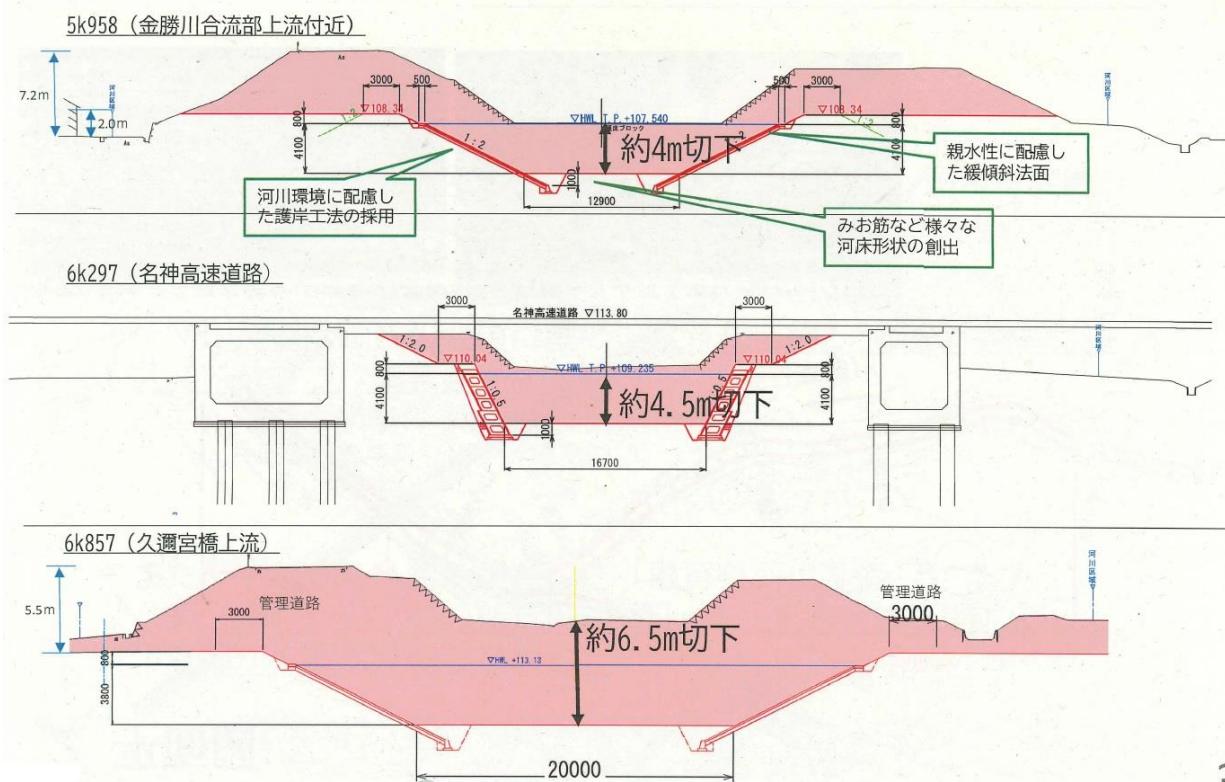
No.	役職	町内会名	氏名
1	委員長	山寺町内会	奥村 嘉英
2	副委員長	岡本町内会	植松 五郎
3	委員	馬場町内会	林中 良彦
5	委員	馬場町内会	山本 修一
6	委員	山寺町内会	奥村 吉明
7	委員	山寺新田	山口 均
8	委員	山寺新田	山口 和弘
9	委員	笠井町内会	本田 国松
10	委員	笠井町内会	我孫子 剛
11	委員	岡本町内会	植松 五郎
12	委員	岡本町内会	山元 繁一
13	委員	青地一町内会	我孫子 清章
14	委員	青地一町内会	宇野 敬造
15	委員	まち協役員	奥村 次一
16	委員	まち協役員	山元 義宣
17	委員	まち協役員	奥村 憲一
18	事務局	まち協事務局	政川 純子

3. 参考資料

草津川河川改修事業説明(R06/08/29 配付資料抜粋)



3 河川改修断面



件名

日時：令和 6 年 8 月 29 日（木）19:00～21:00

場所：志津まちづくりセンター

【目的】

「草津川切下げに関する特別委員会」への事業説明を行った。紙での配布資料および 3D パースを使用して説明。

【結論】

- ・次回、委員会への説明については、来年度、県発注の詳細設計の進捗によって、計画が大きく進捗、または変更したタイミングで行うこととなった。
- ・河川整備 5 か年プランの工事区間に隣接する笠井町から、市道草津川線の整備について町内会の要望を聞く場を設けてほしい、との意見があり、時期調整が必要となった。

【意見、質疑】

＜笠井町＞

○工事起点部と既存道路のつながり目はどうか。

→工事起点部から新岡部橋方向へ道路のすりつけ区間が生じる。（県）

○工事期間中の洪水対策について、迂回水路を別途用意する、溢れても右岸側の田に溢れるようにするなどして、住宅に影響が出ないように考えてほしい。

→非出水期の施工とし、施工中の洪水量も基準に則って過去何年かの最大雨量を見込むなど、洪水時も河川内で処理できるようにする。（県）

○工事によって河川断面は増大するのか。流量は増加するのか。

→治水事業なので、河積は増大する。流量は上流の最少部では 3 倍以上増加する。（県）

○切下げ後、平地となる堤防法面の用途や維持管理の件で町内会から質問が出ている。ゴミステーションはどうなるのか等の細かい要望を聞いてほしい。

→時期を検討する。（市）

○既存町内道路から新設道路への取り付けおよび高さのわかるイメージ図を作成し、町内会へ説明してほしい。

→資料の断面図を参照してほしい。その他は詳細設計で検討したい。（県）

○町内会への説明はいつになるか。詳細設計ですべて決定してしまう前に、町内会の要望を聞いて反映してほしい。河川はわかったからもういい。道路について。

→詳細設計がある程度進まなければ、形を示すことは難しいし、具体的な形を示しながら話をしたい。予算がついたとして最速で R7 に発注となる。（市）

○設計してからだと、「もう設計がある程度進んでしまっているから、あまり地元意見は反映できませんよ」となるので、それでは困る。どういった意見・要望を地元が持っているかを聞き取るための地元説明会くらいはできるのではないかな。

○詳細設計の発注がなければ今の素材で説明できないか。高齢者が多いので、パース図を描いてほしい。堤防が切り下がって道路ができて、家からみた姿と、堤防からみた姿の絵がほしい。市の職員で簡単に描いてでもいいので、まずは町内会の要望を聞きに来てほしい。

→素案なしに、要望を聞き取るスタイルとしても、現在、県で進めている予備設計で河川の形が確定した後が望ましい。（市）

→県の予備設計業務が年内に完了するので、説明会時期は早くても R7 年明け以降になる。（県）

○意見を聞くだけの説明会なら、早期に開催できるのではないか。そんなに今日の形から変わることはないだろうから、今の堤防に「ここまで切り下がりますよ」という杭を打つなど、工夫をしてほしい

→一旦、持ち帰って、県とどのようにできるかを相談させてもらってから、改めて町内会長に連絡する（市）

<岡本町>

○草津川線の道路は工事中どうなるのか。ずっと使えないのか。市に聞きたい。

→毎年度、100～150m程度の進捗でしか河川改修は進まない。道路の設計はしておいて、1工区の河川工事が完了してから、道路整備工事をしていくように、県と足並みを合わせて工事をしていくことになろうかと考えている。工事中は、迂回か通行止めになるが、河川工事が終わった区間は、今の幅員での仮復旧で通行はできるようになろうかと思う。詳細の形は、県が今後される詳細設計で決まっていく。（市）

<馬場町>

○馬場橋は現況位置には復旧できないのか。図面では移設先が岡本橋の位置だが、馬場橋自体がなくなるのか。

→馬場橋の現況位置への復旧は、取り付け道路が急勾配になるため不可である。取り付く位置まで山手幹線側へ移設が必要だが、現在の岡本橋に近接していくため、集約も含めて協議を行ってきたい。また、馬場橋の現況位置へは歩道橋を検討している。（県）

<奥村志津まち協会会長>

○現状の道路が出来た際も、馬場町に入るための直通的な道路がなく、県道を U ターンして馬場橋へ行けるようにしてもらった経緯がある。馬場橋をなくして、岡本橋まで迂回しろと言うのは、馬場町にとっては酷な話である。

→今後、橋梁の位置については地元と協議していききたい。（県）

<山元志津まち協副会長>

○県道交差点が Y 字交差点で非常に危険である。山手幹線開通後に状況は変わるかもしれないが、朝夕ラッシュ時の交通状況を確認してほしい。

→山手幹線側から県道交差点への合流については、右折レーンの確保等、渋滞対策を考慮したい。これは詳細設計の際に細かく検討していく（県）

<奥村嘉英草津川切下げに関する特別委員会委員長>

○草津川左岸を直進する市道は残したほうがいいのか。

→現状、県道と市道の交差点が、斜め交差点で危険ということもある。道路形状については検討したい。（県）

○草津川と菖蒲谷側の合流点付近の橋（山寺大橋、山寺小橋）はどうなるのか。

→今現状のイメージとしては、そのままの形としているが、今後協議をさせていただきたい。（市）

○山寺町も道路の計画に対して関心が高いので、笠井町に続いて、山寺町の役員だけで良いので、今時点での意見交換をお願いしたい。時期については、また連絡をお願いしたい。

○今後 5 年間で工事に入る区間である、笠井町、山寺町への説明は早めにしたほうが良いと思う。今後は影響を受ける個々の町内会との調整になるが、他町が状況を知らないということは望ましくない。このため、次回、委員会については、来年度、県発注の詳細設計の進捗によって、計画が大きく進捗、または変更したタイミングでお願いしたい。

第3号報告 残地森林活用検討委員会報告

1. 検討委員会経過

◆背景

志津の地形と地域性を活かして、新志津運動公園（以降、運動公園と略す）が馬場の里山に移設されることに合わせて、運動公園と里山の残森林に野外活動センターを併設して、里山保全を行いながら自然と環境にやさしい活動拠点づくりを考えています。この新しい活動拠点は、志津をはじめ草津の自然公園としての名所になればと考えています。

※解説、志津の地形は、北西は住宅開発が進み住宅が密集、南東は田園や里山が広がる自然と住宅が共存する地域である。そうした、住宅開発増の影響から子どもの人口も増加の一途を辿り志津小・高穂中学校とも1000名を越える児童数である。

◆経緯

運動公園はクリーンセンターの建設による代替地として馬場の里山に移設することが確定している。しかし、主管する教育委員会は、運動公園の移設を目的として実行され、今日に至っている。一方、志津の地形には、古くからの里山が残っているが、現在では、放置化され里山の維持管理ができておらず荒廃が進行している。志津の自然の源である里山を守るためには、里山保全が永続的にできる里山保全の活動組織体が不可欠である。

今回、これらの運動公園の移設と、隣接する残森林の里山保全管理組織の両面について、草津市と志津まちづくり協議会が一体になって協議・検討していくために検討委員会を設置をする。

◆検討委員会

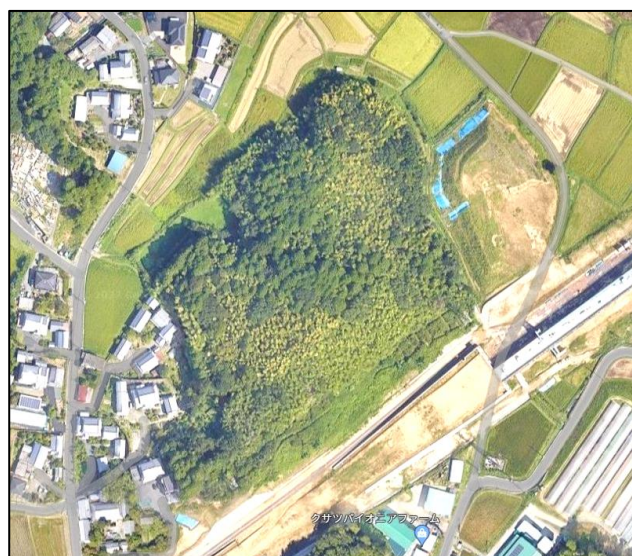
開催日	検討内容
R06/07/23	検討委員会発足の背景と進め方
R06/08/23	残地森林の状況と制約について、里山保全に必要な施設について
R06/11/19	残地森林の検討状況と里山保全するために必要な要望について

◆参考資料

新志津運動公園計画図



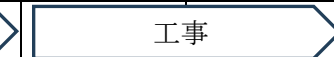
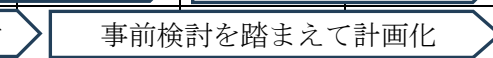
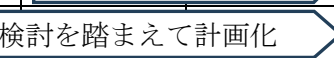
移設先の現況写真



2. 検討委員メンバー

No.	町内会名	氏名
1	馬場町内会	奥田 文男
2	山寺町内会	奥村 吉明
3	笠井町内会	本田 国松
4	岡本町内会	山元 繁一
5	青地一町内会	青地 孝夫
6	青地二町内会	宇野 嘉隆
7	追分町内会	高田 和明
8	まち協役員	奥村 次一
9	まち協役員 委員長	山元 義宣
10	まち協役員	鈴木 登
11	まち協役員	我孫子 清章
12	まち協役員	奥村 美佳
13	まち協役員	宇野 敬造
14	まち協役員	北川 博之
15	まち協役員	田淵 進
16	まち協役員	林 文男
17	まち協役員	服部 利比郎
18	まち協事務局	政川 純子
19	まち協事務局	木村 隆文

3. 今後の予定

委員会	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
検討委員会	発足 					
運動公園		基本設計/実施設計 		工事 		完成予定
里山保全運営		事前検討 	事前検討を踏まえて計画化 			

4. 草津市長に提出した要望書（令和 6 年 10 月 8 日提出）

新志津運動公園建設に伴う残地森林の取り扱いについて

1. はじめに

新志津運動公園の建設に伴い「おがへら山」の中央に、運動公園や駐車場等が建設されることから、この山の森林部分が3割程度になる。この残地森林を含めた新志津運動公園を草津市は、維持管理する必要がある。そこで、残地森林の保全を伴った利活用できるような環境学習の拠点づくりを草津市と協働で推し進めたく要望いたします。

2. 草津市の総合計画

草津市の基本方針「環境」の中で、「良好な環境の保全と創出」を掲げている。

その中に

① 自然環境の保全

② 環境学習の拡充

がある。特に環境学習の拡充については、いきもの自然学校の取り組みを環境政策課が推進されており、そのモデル地区に志津まちづくり協議会が参画して3年目となる。

3. 志津学区の環境学習の現状

志津学区は市内でも唯一里山が残っている地域であり、令和4年度から私有の山林を借用して環境政策課と志津まちづくり協議会が共催で里山自然学校を開校している。毎年、多くの子ども達に自然環境学習を習得体験してもらっている。さらに里山自然学校の卒業生は、OBとして現在の里山自然学校の支援をしている。

しかし、活動の拠点が、私有の山林であることから、学習のために必要な施設がなく、トイレや水道、電気については所有者の自宅を借用している状況である。また、活動のために必要な道具や備品を保管する場所がなく困っている。

4. 新志津運動公園の残地森林への期待

新志津運動公園計画できる残地森林を、里山として利活用しながら、山林の保全をすることで草津市総合計画第1期基本計画の実現に繋げることができると考える。

特に環境学習の拡充については、その拠点づくりが重要であり、今回の残地森林を環境学習の拠点とすることが最適だと考える。木は一度植樹して終わりではない。大きな木になるには最低30年は必要である。また、苗が根付くまでに、枯れてしまうことも多い。こうした環境のなかで、子どもたちに自然の大切さ、育て守っていく大切さについて学ぶ貴重な場所である。また、このような活動は、地元の志津学区だけでなく、他の学区の環境学習にも活用可能となる。さらに市外からの受け入れも可能になる。

5. 最後に

以上のことから、新志津運動公園をスポーツのグラウンド利用とするだけでなく、残地森林を環境学習の拡充に繋げるとともに、里山保全活用の拠点としていただけるよう要望する。具体的には、次のページに掲げる施設や備品を構築していただくことを提案する。

環境学習の拠点づくりに必要な施設・設備

草津市環境基本計画の中に重点事業として「いきもの自然学校」が掲げられている。市の環境政策課では、地域の所有山林を借用して子ども達に環境学習の機会として里山活動ができる学区を募集され、志津学区がモデル事業として選ばれた。志津学区では、志津まちづくり協議会と市の環境政策課が共催で令和4年度から「志津里山自然学校」を開校し、3年目を迎えている。活動場所をどこにするのか何度も検討し、私有の山林を借用することとなった。その中で特に、トイレや雨天時の活動場所、里山活動に欠かせない備品類の保管庫がないという課題に直面した。今回、新志津運動公園を移設することで、グラウンドエリア以外の残地森林、造成森林の植林や維持管理も草津市が行う必要がある。こうした維持管理や植林について、自然環境学習の取り組みとし里山活動拠点として草津市と地元(まちづくり協議会)が協働で事業展開していくことが最案だと考える。

また、こうした自然環境学習の拠点を草津市が保有することで、草津市の新たな取り組みとして自然環境学習に注力していることを市内をはじめ市外へもアピールできると考える。

◆里山自然公園の具体的な利活用

(1) 市の環境学習の拠点

令和6年度において志津里山自然学校として、別紙のような事業を実施している。
令和4年度から開始し3年目となる。

(2) 地域まちづくり協議会の自然学習の拠点

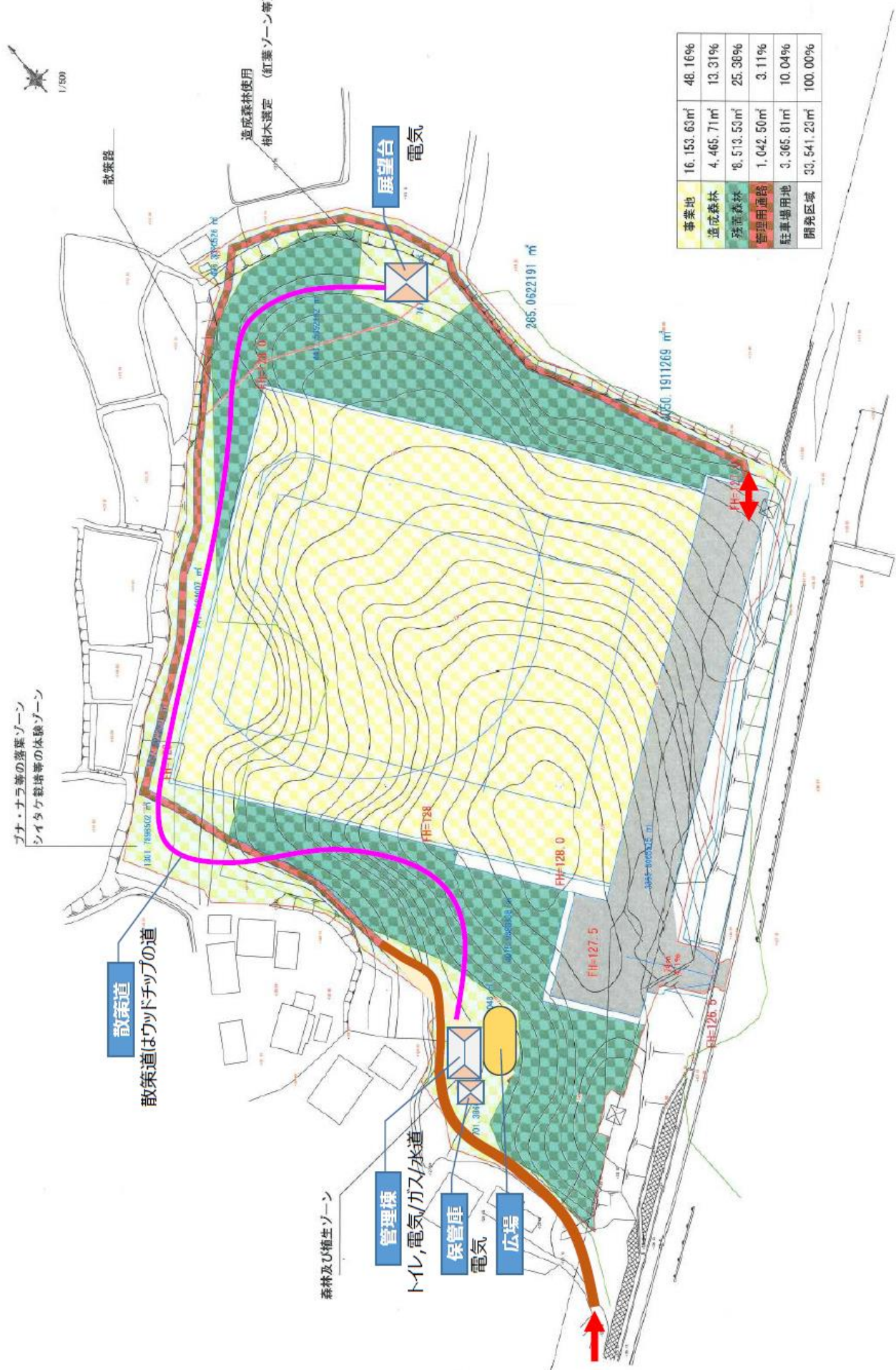
志津学区では里山保全に必要な学びや講習の実技習得できる拠点とする。
チェーンソー講習会、ロープワーク講習会等
(現在は、私有山林広場を借用して実施している)

(3) 他市からの自然環境学習の受入の拠点

上記の(1)、(2)を他市からの子ども達を受け入れる拠点とする。

施設名	設備	必要性	用途
管理棟	トイレ・冷暖房・電話/FAX、電気・ガス・水道	事務所兼集会所 ミーティングスペース	事務所,集会
保管庫	電気	活動に必要な資材や備品の保管	備品庫,資材置場
広場	集会スペース・集合場所	集合・集会のため	集合,集会
休憩所	東屋(屋根付) 電気	散策後の休憩場所 一時的避暑・雨天時の避難場所	一時休憩 避暑・雨除け
散策道	ウッドチップ仕様 自然を活かした道	自然学習の観察、散策のため	散策コース

残地森林を里山自然公園とするための施設・設備案図



第4号報告 令和7年度からの第3期 指定管理の申請について

1. はじめに

草津市では、各学区の地域まちづくりセンターの運営について、各地域のまちづくり協議会を指定管理者に指名し、業務委託する方法で平成29年度から始めました。

志津まちづくり協議会も平成29年度から指定管理者としてセンターの運営を行っており、現在に至っています。この期間が、令和6年度末をもって終了することから、令和7年度から始まる第3期の指定管理についても令和6年9月に申請を行いました。

今後は、草津市での議会の承認を経て指定管理基本協定書を締結していきます。

◆指定管理の経過

発注者は、草津市、指定管理者(受託者)は、志津まちづくり協議会

開催期	年度
第1期	平成29年度～令和元年度
第2期	令和2年度～令和6年度
第3期	令和7年度～令和11年度（申請中）

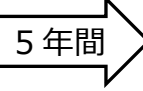
2. 第3期指定管理の概要

受託期間 第3期（令和7年度～令和11年度）5年間

◎令和7年度収支予算書(案)

収入	金額		支出	合計
事業収益	42,000 円		人件費	14,366,000 円
指定管理料	21,180,000 円		業務委託費	1,929,000 円
雑収益	300,000 円		消耗品費	742,000 円
収入合計	21,522,000 円		水道光熱水費	1,600,000 円
			賃借料	926,000 円
			租税公課	1,309,000 円
			その他経費	650,000 円
			支出合計	21,522,000 円

◎令和7～11年度予算書(案)に対する5年間の収入予算

収入	金額		収入(5年間)	金額
事業収益	42,000 円		事業収益	210,000 円
指定管理料	21,180,000 円		指定管理料	106,311,000 円
雑収益	300,000 円		雑収益	1,500,000 円
収入合計	21,522,000 円		収入合計	108,021,000 円

◎改善点

職員給与について、第3期から草津市指定管理制度における賃金スライド制度が導入(賃金改定)されることとなりました(第2期では、賃金改定はありませんでした。)